

蒲郡市男女共同参画情報紙

はばたき

特集●多文化共生における

男女共同参画の推進について

～多文化共生つてなあに?～



「あなたがいる わたしがいる 未来がある」

(平成24年度 男女共同参画週間キャッチフレーズ)

第22号

2012.9



多文化共生における男女共同参画の推進について

～“多文化共生”ってなあに？～



“多文化共生”とは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。蒲郡市は「第2次蒲郡市男女共同参画プラン」（平成23年3月策定）の基本計画の1つである「持続ある地域づくりと協働による男女共同参画の推進」の主要施策として多文化共生事業を推進しています。市内には2100人余の外国籍の方が居住しており、蒲郡国際交流協会の多文化共生部会では日本語教室を開催して外国の方に日本語を教えたり、在住外国人との交流事業などを実施しています。今回は、市内3か所にある日本語教室を通して、外国人との共生と男女共同参画について考えたいと思います。

大塚教室 東大塚いこい会館（大塚児童館併設） 午前10時～正午
第1・3土曜日 竹内〈59-8735〉

大塚教室はボランティア10名で主に外国籍の子どもさんに日本語を教えています。ペルーやフィリピンの子どもが多く、夏休み期間は火曜と金曜の週2回開催しています。今年も15人程の子どもたちが夏休みの宿題を勉強したり、休憩にはゲームをして一緒に遊びました。夏休みの最終日には打ち上げパーティで、お手製のサンドイッチやおにぎり、お菓子を食べながら「頑張ったね。」「楽しかったね。」といろいろな話をして盛り上がりました。

8月18日（土）には毎年恒例の「大塚学区ふれあい活動」に参加してダンスを披露しました。大塚の小中学生の踊りや太鼓、花火なども鑑賞し、夜店ではホットドッグやかき氷などを食べたり、大人から子どもまで地域の方たちと交流を深めました。

外国籍の子どもたちの勉強面でのサポートだけでなく、精神的な拠りどころとなるような教室になればいいなと思います。



塩津教室 竹谷町神田38-6
時間はお問い合わせください。
★ほぼ毎日開催★ 細江〈67-6036〉

塩津教室は水曜日を除いてほぼ毎日開催しています。塩津教室の特徴は、活動しているボランティアに外国の方が多くということです。日本語が堪能で日本の生活も熟知している外国のボランティアの方たちは、仕事や結婚で日本に来たばかりの全く日本語の分からない方や、学校に行きながら日本語をもっと勉強しようと奮闘している子どもたちにとって、とても頼りになる存在です。

地域との交流もだんだん盛んになってきました。今年は8月4日（土）に竹谷地区と「尺地川・蛍の会」の皆さんと、教室に通う外国の方をはじめ市内在住の外国の方たちと「ぼたもち大会」を実施しました。ぼたもちをメインにバーベキューやかき氷、参加者が持ち寄った料理を堪能した後は、すいか割りをして大いに盛り上がり楽しくにぎやかに過ごすことができました。

ふれあいカフェ

塩津教室では、毎月第4日曜の午後2時から「ふれあいカフェ」を開催しております。外国の方たち同士の友好の輪を広げたいとお茶を飲みながら和気あいあいと楽しい時を過ごしております。時には、生活の悩みや相談などをしたりもしています。また外国の言葉や文化などに興味のある日本の方の参加も大歓迎です。国籍に関係なく、友達の輪を広げるためのカフェです。ぜひ一度ご参加ください！

このカフェでは、男性、女性いうより、様々な文化や言葉、価値観を持った人間同士が互いに認め合って支え合う交流を行っていきたいと考えております。



日本語教室 勤労福祉会館 午後2時～4時
(虹グループ) 第1・3日曜日 村松〈080-5135-6336〉

国際交流協会発足と同時に教室を始めました。小中学校の教師や日本語教師、英語、中国語を話すことのできるボランティア7名で活動しています。市内に住む外国の方から日本語を覚えたいという要望が高まり教室を始めてから、早や20年が過ぎようとしています。

初めはひらがなを勉強したり、市役所や学校の手続きなど生活に必要なことのお手伝いや日本の生活に馴染むようにサッカー教室などを行っていました。

外国の方の目的や要望もいろいろ変わってきており、今、日本語教室に来られる方のほとんどが日本語能力検定試験を受験する中国の方で、その勉強に対する姿勢は真剣そのものです。生徒さんによって教室の運営も変わってきましたが、日本語能力検定試験1級合格者も出るようになり、ボランティアの励みにもなっています。

【蒲郡市在住の外国の方の状況】

2,139人（平成24年4月1日現在）蒲郡市の人口（80,498人）の2.7%を占めています。国籍別上位人口は①フィリピン768人、②ブラジル454人、③中国407人、④ペルー320人、⑤韓国（朝鮮）62人

市内の小中学校に在籍する外国籍の子どもたちは175人で、日本語を覚えて、日本の生活に慣れようとみんな一生懸命頑張っています。

日本語教室等でボランティアとして活躍している
外国の方たちへお聞きしました！

男女共同参画や多文化共生について



中国・女性

男女平等の旗を掲げて努力してきた甲斐もあって、家庭や社会での男女の地位の差は著しく縮んできたと思いますが、価値観に関してはまだまだ大きく差があると思います。そのなかで日本に在住する外国人達の為に日本語教室等を通じて共に生きていこうとする“多文化共生”の活動のようにみんなが同じ目標をもっていることは、一人の外国人として、親しみと喜びを感じます。

男女共同参画という言葉は聞いたこともなかった。仕事での立場が男性の方が優位だと感じるし、同じ仕事をしていても給料が違ったりということからも私の母国においても男女が平等とは言えないと思う。蒲郡に住んでいて、私は特に不便なことはありませんが、今後も多文化共生を目指して、いろいろな活動や支援を続けてほしいと思う。



ブラジル・女性



中国・女性

グローバル化の進展に伴って国際結婚が増え、外国人を親に持つ子どもも増加している。しかし、外国人女性は言葉と習慣の違いなどでとても孤立した状況です。子どもは国の未来を、そして立場的に弱い外国人女性は日本の未来を背負って今の社会を支えています。男女共同参画の視点に立ち、蒲郡市で働き生活する外国人への教育、就労支援、多言語での情報提供や相談体制の整備等について、適切な支援を進めていく必要があります。

編集後記 Editor's note

時代は国際化から多文化へと変遷しています。男女共同参画社会を望む声も世界的な規模となってきましたが、まだまだ男性優位の部分が多いようです。男だとか女だとか、日本人とか外国人という括りに関係なく、誰もが自分の能力を生かすことのできる社会にすることが大切です。縁あって、蒲郡市民となった外国の方たちと地域住民の一人として、協力し合って暮らせることを望みます。

はばたき 第22号
2012.9

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行／蒲郡市 文化スポーツ課

編集／「はばたき」編集委員

〒443-8601 蒲郡市旭町17-1

■TEL 0533-66-1167 ■FAX 0533-66-1199

■Eメール bunsपो@city.gamagori.lg.jp